

## 令和5年度精神保健に関する技術研修課程

### 募 集 要 項

#### 1. 開講目的

本研修は、精神保健福祉の業務に従事する医療従事者、及び研究者等を対象に、精神疾患、神経・筋疾患、発達障害に関する研究と医療にかかる専門的な知識の習得、並びに技術の向上を図ることを目的とする。

#### 2. 主催

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所

#### 3. 募集する研修一覧

各課程の詳細については、精神保健研究所ホームページ「研修／セミナー情報」から確認してください。また本紙に掲載の研修日程・受講資格等については変更が生じる場合がありますので、当センターホームページでご確認ください。

URL：[https://www.ncnp.go.jp/mental-health/seminar\\_R5.html](https://www.ncnp.go.jp/mental-health/seminar_R5.html)

#### 4. 受講申込

申し込みたい研修の申込み方法を確認後、下記の（１）、（２）のうち該当する手順に従って指定の期日までに受講申込みを行ってください。

##### (1) 自治体推薦の必要な研修

###### 【郵送提出書類】

- ・受講願書（履歴書・推薦書）

###### 【書類作成方法】

- ① 各課程詳細ページにあります受講願書（履歴書・推薦書）にご記入もしくはご入力の上、印刷し、ご捺印ください。
- ② 「履歴書」下部の所属先推薦書に、所属先推薦人によるご記入、ご捺印を受けてください。申込者本人が所属長の場合は、「自身が所属長」とご記入ください。
- ③ 所属機関を管轄している自治体（「願書提出先（自治体）一覧」を参照）へお申込み期間内にご郵送ください。

###### ※ 自治体ご担当者様※

- ④ おとりまとめの上、当センター書類必着日（申込期日とは異なります）までにご郵送ください。期日までに書類が到着しない場合は、選考の対象となりませんのでご注意ください。

## (2) WEB受付の研修

### 【WEB登録方法】

- ① 受講申込みはWEBシステムにて行います。精神保健研究所ホームページ⇒「研修／セミナー情報」⇒「令和5年度精神保健に関する技術研修」内から申し込みたい研修をクリックし、ページ一番下にある「申込」マークを押してください。
- ② 申込者情報を入力し、内容確認後、登録をしてください。
- ③ 登録したメールアドレスに受付完了メールが届きますので、必ず確認してください。

WEB登録後にこちらからのメールが届かない場合は、「研修に関するお問い合わせ先」までその旨をご連絡ください。

### ■災害時PFA研修／摂食障害治療／PTSD研修／ペアレント・トレーニング実施者養成研修■

- ④ WEB登録完了後、職場の上司による職印（ない場合は個人印でも可）を押した推薦書をご郵送下さい。推薦書をご郵送いただけない場合、ご参加の登録は無効になります。

なお、申込者本人が所属長の場合には、推薦書は不要です。（WEB登録の際、推薦者を入力する欄に「自身が所属長」とご入力ください。）

### 【注意事項】

- ・登録完了後の修正はできません。修正が必要な場合はその旨をメールにてご連絡ください。
- ・WEBに登録された「氏名」、「生年月日」が修了証書への記載事項となります。登録に誤りがある場合は、事前にお申し出ください。

## 5. 受講可否について

書類選考の上、研修開始のおよそ1ヶ月前までに、受講の可否をメールで通知します。なお、電話による受講の可否のお問い合わせについてはお答えできません。受講決定された方には受講決定通知メールにて受講票発行のURLをご案内しますので、受講生ご自身で受講票を印刷の上、研修当日にお持ちください。（オンライン研修の場合は、受講票は発行されません）

## 6. 研修費用の支払（無料の研修を除く）

### (1) 受講料

各研修により受講料が異なります。ご登録メールアドレスに請求書発行のURLをご案内しますので、受講生ご自身で請求書をダウンロードし、請求書に記載の納付期限までに指定口座にお振り込みください。現金払いはできません。振込手数料はご負担をお願いします。なお、領収書の発行は振込明細に替えさせていただきます。

※オンライン研修の場合は事後払いとなる事がございます。

※公費払い等で公印押印や請求書の宛名変更が必要な方は、WEB登録時にお知らせください。

※振込名義は、「受講者氏名」を入力してください。別の名義で振り込んだ場合は、「振込名義」と「振込日」「受講者氏名」をメールでお知らせください。

※期日までにご入金を確認できない場合は、受講許可が取り消しになります。

※研修開始日の1週間前を過ぎてからの個人的理由によるキャンセルの場合は、受講料は返金いたしかねますのでご了承ください。

## (2) その他

研修期間中に実施する所外実習又は見学に要する交通費等は受講者負担とします。

## 7. 修了証書の授与

所定の研修課程を履修した者には修了証書を授与します。成業の見込みがないとき、理由なく欠席し、又は出席が通常でないときには、研修途中でも受講の許可を取り消すことがあります。

## 8. 受講時の注意事項

- ・ 宿泊は各人で手配してください。
- ・ 研修会場へは公共交通機関をご利用ください。
- ・ 昼食については各研修の案内をご確認ください。
- ・ 受付開始時刻までは会場内に入れません。
- ・ やむをえず遅刻および早退、欠席する場合には、あらかじめご連絡ください。
- ・ 当センターは敷地内全面禁煙となっております。また、歩行者や近隣住民のご迷惑となりますので、当センター周辺道路歩道上での喫煙もご遠慮ください。

## 9. 研修修了後

研修によっては事後報告を求めることがあります。（アンケートなど）

## 10. 研修に関するお問い合わせ先

〒187-8553 東京都小平市小川東町4-1-1

国立精神・神経医療研究センター 研究所事務室

E-Mail: seiken-kensyu@ncnp.go.jp

TEL 042-341-2712（内線6309）（受付時間：平日9時～17時）

Fax 042-346-1944

# 第4回 発達障害者支援研修：指導者養成研修パートⅠ

## 1. 目的

都道府県における発達障害支援の拠点的医療機関の医師等を対象として、研修修了後に指導的な立場から、各地域におけるかかりつけ医などに対して発達障害支援に関する情報や技能を伝達する講師となれるよう包括的な知識を習得することを目的とする。指導者養成研修パートⅠからパートⅢまで参加することにより、発達障害の医学的支援に関する考え方・知識等を一通り学ぶことが出来るようにカリキュラムが構成されている。

## 2. 対象者

病院、保健所、発達障害支援センター等に勤務し、発達障害に関心を有する医師、特に指導について責任的立場にある者。なお、自治体（都道府県、政令指定都市）において、行政的な立場で地域の研修実施に携わる者もしくは発達障害者支援センター職員の参加も可能である。

## 3. 研修期間

令和5年6月28日（水）から令和5年6月29日（木）まで

## 4. 研修主題

ライフステージごとの発達障害児・者の課題と支援の実際

## 5. 課程内容（予定）

	（時間）
（1）発達障害児・者に対する行政施策	（2.0）
（2）発達障害のある子と養育者の支援	（2.0）
（3）学童期・思春期の課題とその支援	（2.0）
（4）成人期の日常生活、就労への支援	（2.0）
（5）高齢期の生活実態と支援	（2.0）
（6）医療のトランジションと地域連携（講義・ワーク）	（2.0）

合計 12時間

## 6. 定員

50名（応募者多数の場合は選考することがあります）

## 7. 申込方法・期間

自治体推薦（自治体ごとの推薦人数に上限はありません）

令和5年4月7日（金）～4月27日（木）

※申込方法詳細は、募集要項をご確認ください。

## 8. 受講料

無料

## 9. 会場

国立精神・神経医療研究センター 教育研修棟ユニバーサルホール

（COVID-19の感染拡大によってはオンライン開催となることもあります。）

オンライン開催の場合、講義内容にも変更があります）

## 第4回 発達障害者支援研修：指導者養成研修パートⅡ

### 1. 目的

都道府県における発達障害支援の拠点的医療機関の医師等を対象として、研修修了後に指導的な立場から、各地域におけるかかりつけ医などに対して発達障害支援に関する情報や技能を伝達する講師となれるよう包括的な知識を習得することを目的とする。指導者養成研修パートⅠからパートⅢまで参加することにより、発達障害の医学的支援に関する考え方・知識等を一通り学ぶことが出来るようにカリキュラムが構成されている。

### 2. 対象者

病院、保健所、発達障害支援センター等に勤務し、発達障害に関心を有する医師、特に指導について責任的立場にある者。なお、自治体（都道府県、政令指定都市）において、行政的な立場で地域の研修実施に携わる者もしくは発達障害者支援センター職員の参加も可能である。

### 3. 研修期間

令和5年9月27日（水）から令和5年9月28日（木）まで

### 4. 研修主題

発達障害児・者の多様な支援ニーズと支援の実際

### 5. 課程内容（予定）

	（時間）
（1）特別支援教育の現状と課題	（2.0）
（2）発達障害と不登校・ひきこもり	（2.0）
（3）外国にルーツを持つ児童の支援	（2.0）
（4）強度行動障害	（2.0）
（5）女性と発達障害	（2.0）
（6）発達障害の啓発と権利擁護、地域連携構築（講義・ワーク）	（2.0）

合計 12時間

### 6. 定員

50名（応募者多数の場合は選考することがあります）

### 7. 申込方法・期間

自治体推薦（自治体ごとの推薦人数に上限はありません）

令和5年7月4日（火）～7月24日（月）

※申込方法詳細は、募集要項をご確認ください

### 8. 受講料

無料

### 9. 会場

国立精神・神経医療研究センター 教育研修棟ユニバーサルホール

（COVID-19の感染拡大によってはオンライン開催となることもあります。）

オンライン開催の場合、講義内容にも変更があります

# 第4回 発達障害者支援研修：指導者養成研修パートⅢ

## 1. 目的

都道府県における発達障害支援の拠点的医療機関の医師等を対象として、研修修了後に指導的な立場から、各地域におけるかかりつけ医などに対して発達障害支援に関する情報や技能を伝達する講師となれるよう包括的な知識を習得することを目的とする。指導者養成研修パートⅠからパートⅢまで参加することにより、発達障害の医学的支援に関する考え方・知識等を一通り学ぶことが出来るようにカリキュラムが構成されている。

## 2. 対象者

病院、保健所、発達障害支援センター等に勤務し、発達障害に関心を有する医師、特に指導について責任的立場にある者。なお、自治体（都道府県、政令指定都市）において、行政的な立場で地域の研修実施に携わる者もしくは発達障害者支援センター職員の参加も可能とする。

## 3. 研修期間

令和5年11月15日（水）から 令和5年11月16日（木）まで

## 4. 研修主題

発達障害児・者の支援に求められる基本的姿勢とかかりつけ医研修

## 5. 課程内容（予定）

	（時間）
（1）特別支援教育の現状と課題	（2.0）
（2）ペアレント・トレーニング	（2.0）
（3）発達障害とトラウマインフォームドケア	（2.0）
（4）発達障害の支援ニーズにおける当事者の視点	（2.0）
（5）当事者や家族のネットワークと支援	（2.0）
（6）かかりつけ医研修の実際（講義・ワーク）	（2.0）

合計 12時間

## 6. 定員

50名（応募者多数の場合は選考することがあります）

## 7. 申込方法・期間

自治体推薦（自治体ごとの推薦人数に上限はありません）

令和5年8月22日（火）～9月11日（月）

※申込方法詳細は、募集要項をご確認ください

## 8. 受講料

無料

## 9. 会場

国立精神・神経医療研究センター 教育研修棟ユニバーサルホール

（COVID-19の感染拡大によってはオンライン開催となることもあります。）

オンライン開催の場合、講義内容にも変更があります

## 第4回 発達障害者支援研修：行政実務研修

### 1. 目的

厚生労働省は各地域における発達障害の早期発見・早期支援のための体制整備及び適切な事業実施を推進するために、「かかりつけ医等発達障害対応力向上研修」の実施要綱を定め、平成28年度から各都道府県・指定都市において関係団体等と連携の下での研修の事業実施についての通知を発出した。

本研修は、行政的な立場で各自治体の「かかりつけ医等発達障害対応力向上研修」の実施に携わる者もしくは発達障害者支援センター職員を対象として、各自治体において研修を企画立案することを目的とする。

### 2. 対象者

行政的な立場で各自治体の「かかりつけ医等発達障害対応力向上研修」の企画・実施に携わる者、もしくは発達障害者支援センター職員、かかりつけ医研修にかかわることが期待される医師など。

### 3. 研修期間

令和6年1月17日（水）から 令和6年1月18日（木）まで

### 4. 研修主題

地域における発達障害児・者の支援ニーズと機関連携

### 5. 課程内容（予定）

	（時間）
（1）発達障害児・者に対する行政施策	（2.0）
（2）乳幼児検診における早期発見と療育・家族支援	（2.0）
（3）医療における課題—初診待機解消、初期診療医の育成、医療連携	（2.0）
（4）不適切な養育下にある発達障害のある子どもへの支援	（2.0）
（5）司法領域における連携と地域定着援助	（2.0）
（6）支援情報の提供、地域連携構築の実際（講義・ワーク）	（2.0）

合計 12時間

6. 定員 50名（応募者多数の場合は選考することがあります）

7. 申込方法・期間 自治体推薦（自治体ごとの推薦人数に上限はありません）

令和5年10月24日（火）～11月13日（月）

※申込方法詳細は、募集要項をご確認ください

8. 受講料 無料

9. 会場 国立精神・神経医療研究センター 教育研修棟ユニバーサルホール

（COVID-19の感染拡大によってはオンライン開催となることもあります。）

オンライン開催の場合、講義内容にも変更があります）

## 【自治体(都道府県・指定都市)の皆様へ】

## 受講希望者の申請書取りまとめ及び推薦について

研修日程	課程名	申込方法	自治体への申込み期間	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 必着日	受講料	定員	主任 副主任
令和5年 6月28日(水)～6月29日(木)	(第4回) 発達障害者支援研修: 指導者養成研修パートⅠ	自治体 推薦	4月7日(金)～4月27日(木)	5月12日(金)	無料	50名	岡田 俊 石井 礼花 魚野 翔太
9月27日(水)～9月28日(木)	(第4回) 発達障害者支援研修: 指導者養成研修パートⅡ	自治体 推薦	7月4日(火)～7月24日(月)	8月7日(月)	無料	50名	岡田 俊 石井 礼花 魚野 翔太
11月15日(水)～11月16日(木)	(第4回) 発達障害支援研修: 指導者養成研修パートⅢ	自治体 推薦	8月22日(火)～9月11日(月)	9月25日(月)	無料	50名	岡田 俊 石井 礼花 魚野 翔太
令和6年 1月17日(水)～1月18日(木)	(第4回) 発達障害支援研修: 行政実務研修	自治体 推薦	10月24日(火)～11月13日(月)	11月27日(月)	無料	50名	岡田 俊 石井 礼花 魚野 翔太

## 1.受講者の推薦をお願いいたします。

- ①各研修課程要項詳細をご確認の上、対象となる方にお声がけ下さい。
- ②要項もしくはHPに掲載される「受講願書」にご記入の上、ご提出いただいで下さい。

## 2.受講希望者からの書類受領後の手続き

- ①受講希望者から送られてくる申請書類の不備確認をお願いいたします。
  - ・「受講願書」「履歴書」の書類/捺印の有無
  - ・「履歴書」後半の「所属先推薦書」の記載の有無
  - ・E-Mailアドレスの記入(メールアドレスは同じものを利用できません。1人1アドレスでご登録ください。)

(※ご連絡は全てメールとなりますので、必ず記載をお願いいたします。)

- ②上記課程一覧に記載の「自治体への申込み期間」最終日を締切として、研修課程ごとに、お取りまとめをお願いいたします。

- ③上記「国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所必着日」までに鑑文を付けて、ご提出をお願いいたします。(鑑文にはご担当者メールアドレスもご記入ください。)  
提出方法:メール(PDFファイル)または郵送。(メールの場合、必ずファイルにパスワードを設定してください。)

## 3. 提出先

メール: seiken-kensyu@ncnp.go.jp

郵送: 〒187-8553 東京都小平市小川東町4-1-1

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 研究所事務室 研修担当

## 4.受講可否通知について

各研修開始の約1ヶ月前までに研修申込者に受講可否結果をE-mailにて通知いたします。  
各自治体には郵送にて結果をご連絡いたします。